

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。このために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：アムロジピン OD錠 5mg「アメル」

主成分：アムロジピンベシル酸塩（Amlodipine besilate）

剤形：黄色の素錠 直径約 7.0mm、厚さ約 3.1mm

シート記載：表 アムロジピン OD5mg「アメル」、AmlodipineOD、OD5
裏 AmlodipineOD 5mg《AMEL》、KW AM5 OD5、
アムロジピン OD「アメル」、OD5、リサイクルマーク



この薬の作用と効果について

カルシウム拮抗剤で、細胞内へのカルシウムの流入を減少させることにより冠血管や末梢血管を弛緩させ、血圧を下げます。

通常、高血圧症、狭心症の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・ 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。血圧が低い、肝機能障害、腎機能障害がある。
- ・ 妊娠または授乳中
- ・ 他に薬を使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に使用中の医薬品に注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・ **あなたの用法・用量は** << >> : 医療担当者記入
- ・ **高血圧症**：通常、成人は 1 回 0.5～1 錠（アムロジピンとして 2.5～5mg）を 1 日 1 回服用しますが、症状により適宜増減されます。効果不十分な場合には 1 日 1 回 2 錠（アムロジピンとして 10mg）まで増量されます。
通常、6 歳以上の小児は 1 回 0.5 錠（アムロジピンとして 2.5mg）を 1 日 1 回服用しますが、年齢、体重、症状により適宜増減されます。
- ・ **狭心症**：通常、成人は 1 回 1 錠（アムロジピンとして 5mg）を 1 日 1 回服用しますが、症状により適宜増減されます。
必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・ 飲み忘れた場合は、（高血圧症の場合）翌日通常の時間に服用してください。（狭心症の場合）1 日以内に気がついた場合であれば、気がついた時点でとりあえず 1 回分を飲んでください。絶対に 2 回分を一度に飲んではいけません。
- ・ 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・ 血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがありますので、車の運転、高い所での作業、危険を伴う機械の操作等には十分注意してください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、むくみ、ほてり（熱感、顔のほてり等）、めまい・ふらつき、頭痛・頭重、動悸、発疹、そう痒、じんま疹、日光による過度の日焼け・かゆみ・色素沈着、円形または楕円形の赤い発疹・発熱・関節の痛み、発疹・足や腕に紫色または赤いあざができる・全身がだるい、まぶた・口唇・舌のはれ・じんま疹・呼吸困難（気道のむくみによる）、歯肉肥厚などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・ 全身倦怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる [肝機能障害、黄疸]
- ・ 出血しやすい（歯ぐきからの出血や鼻血など）、出血が止まりにくい、皮下出血 [血小板減少]
- ・ のどの痛み、発熱、頭痛 [白血球減少]
- ・ 徐脈、めまい、失神 [房室ブロック]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法その他

- ・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については、薬を受け取った薬局に相談してください。

医療担当者記入欄 年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。